

'98 市民ひゅーまんセミナー

感動しました！ 熱くなりました！

講演「障害者と生涯スポーツ」

～長野パラリンピックに参加して～

大阪市長居障害者スポーツセンター主幹
高橋 明さん

4回にわたって行ないました'98市民ひゅーまんセミナー。熱心な市民の方々の参加のもと、さまざまな課題について、専門の講師の講演を通して学習しました。その中から、9月10日に行った「障害者と生涯スポーツ」に参加された方々のご感想を紹介します。

◆人間の力というものにすごく感動しました。先生の前向きな考えで取り組んでいる姿に私たちも頑張らなくてはと思いました。

◆ビデオやお話に登場されている障害者の方々が生き生きとされており感動しました。



◆障害（これから先自分におこりうる）に対してもっと大きな目でみなければいけないと思いました。障害をもった人に対してもっと気軽に声をかけをしたいと思います。今までどこか一歩ひいてしまっていました。

◆リハビリについて「残された能力によって何をないうるかという哲学」に感動！自分自身のこととして考えさせられました。

ひと・あい・ふれあい

憲法と市民のつどい

「人間への尊敬～わたしの出会いから～」と題してNHK解説委員の福田雅子さんにご講演いただきました。ご自身の取材の中からいろんな友達との出会い、感動したこと、知ったことを熱く語られ、感銘を受けたという感想が多く寄せられました。

(アンケートより)



催し・研修会紹介

♥ 地域安全・青少年健全育成吹田市民大会

日時：10月20日(火) 午前10時～12時

会場：メイシアター大ホール

内容：防犯コント

講演 亀山房代さん(タレント)

問合せ：人権啓発室 (384-1231)

♥ 吹田国際交流フェスティバル

日時：11月15日(日) 午前10時～午後3時

「'98吹田万博国際ふれあいマラソン」同時開催

会場：万博自然文化園東の広場

内容：民族舞踊、民族料理、民芸品の販売等

問合せ：人権啓発室 (384-1231)

♥ 大阪人権博物館 (リパティ大阪・561-5891)

企画展：「清潔の近代～コレラからO157まで～」

日時：10月4日まで

特別展：「色に出にけり～身分と差別～」

日時：10月6日～11月15日まで

発行 / 吹田市民権啓発推進協議会

☎564-0041 吹田市泉町1-3-40

☎(06)384-1231(代) 内線2596～8

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより



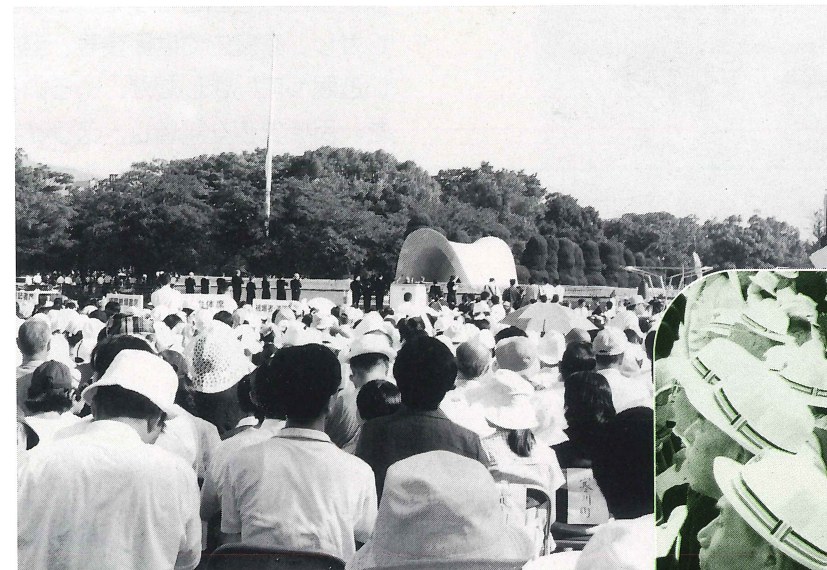
じんけんネット吹田

No. 5

平成10(1998)年10月

吹田市広島平和大使に 参加して

広島平和大使団長 内野 善弘



広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式は平成10年(1998年)8月6日午前8時灼熱の太陽炎天下、あらゆる国々の人々が集結し、いとも厳粛に挙行されました。

本市の「広島平和大使」35名もその中であって核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への願いをこめて参列しました。

本年は広島は惨劇から53年が経過した中であってインド、パキスタンの相次ぐ核実験が強行され、唯一の被爆国である我々の願いは、全面的に無視された形となりました。

「世界人権宣言」が定められて50年、人類を破滅へと導く核兵器の現状をみると、私達は改めて科学技術文明のあり方を問い直すとともに思いを新たにして、何よりも人間の生きる権利を優先させる国際社会をつくって行かねばならないと強く感じました。

～ 1998年は世界人権宣言50周年です ～

世界人権宣言は、差別を撤廃し、人権を確立することによって人類共通の願いである恒久平和の実現を目指し、1948年12月10日に国連総会の決議として宣言されました。広島に続き、今年の長崎平和祈念式典での平和宣言においても「今年は世界人権宣言50周年です。戦争の悲惨さと平和の大切さ、命の尊さを考え、学校や家庭で話し合ってください。飢餓、貧困、難民、人権抑圧、環境破壊など、平和を脅かす問題を、自分の問題としてとらえてください。その解決のために、異なる文化、異なる価値観、そして他の人との違いを認め合い、自分にできることから勇気をもって行動してください。」と宣言しています。

これを機会に、世界人権宣言の精神を人権教育のための国連10年の取り組みの中に活かし、身近な人と人との出会いから互いのちがいを認め合い、共に生きることのできる社会をつくっていかねばなりません。



吹二・吹南地区委員会

「人権のふるさと『水平社発祥の地』を訪ねる」

吹二・吹南地区委員会

6月28日(日) 吹二・吹南地区合同で、奈良県御所市柏原に新設された「水平社歴史館」を訪れました。参加者は総勢48名、日曜日で多人数だったことから、民間バスをチャーターしました。

人権問題に関心のある人にとって「水平社」あるいは「水平運動」は周知の言葉でしょう。しかし、いつ、どこで、なぜ、だれが、なにをしたかについては意外と知られていないのではないのでしょうか。

「水平社歴史館」では、この五つのWについて、「大正の後期、ここ柏原の地で、西光万吉、坂本清一郎、駒井喜作らが、理不尽な差別に抗し、水面のような水平社会の実現のために、誇りを持って、起こした運動」であることと、その運動の理念と変遷を詳しく学びました。

(久野利夫)



岸一・岸二地区委員会

『サウジアラビアの生活と人権』

江坂大池地区委員会

現地日本人学校で教鞭をとられ、帰国後当地区江坂大池小学校長として赴任された山崎先生を講師として「サウジアラビアの生活と人権」をテーマに講演会を開きました。民族衣装で演台に立ち、現地体験を通した宗教風俗の話がされる様子は、正に日本語の上手なアラビア人の感がありました。教徒は日に5回の祈りをします。女性は外出時には厳しく、黒衣を身にまとい絶対に顔を出さない。しかし、家庭内では服装等、自由な生活をしているとのこと。生活の中で男女間の人権の差が大きいと思っていましたが、いろいろな話を聞く中で想像していたよりも案外男女平等の国に感じました。民族衣装を試着し、スライドを見ながらの説明に文化・生活の共通点やちがいを発見しました。

(藤原廣美)



江坂大池地区委員会

「介護実習・普及センター現地研修会」

山三地区委員会

山三地区人権協では、その活動の目標を「住み良い町づくり、とりわけ子ども、お年寄り、そして女性にとって」ということにおき、活動を進めてきました。そんな目標から、6月に茨木市にある大阪府立介護実習・普及センターに行ってきました。ここは、「介護知識・技術、福祉機器の普及と在宅福祉サービス支援の拠点」として、外国製も含め千点余りの福祉機器の展示や相談活動、介護講座の設定を行っています。今回は、その展示機器について、見て、触れて、試すということだけでしたがその細やかな配慮と、その配慮がお年寄りだけでなく全ての人にとってスムーズな生活活動を促すものだという実感を得て見学会を終えました。

(伊東利率)



山三地区委員会

「きしべちびっこ夏まつり」

岸一・岸二地区委員会

朝から太陽がガンガンと照りつける7月18日の昼下がり、紫金山公園で障害者が皆と共に生き働く場として、また障害者の地域での自立にむけた活動を展開しているぷくぷくの会が呼びかけ人となり、きしべちびっこ夏まつりも11回を迎えることができました。

広い公園いっぱい、地域の子どもたちが主人公となって40組の子ども店長が和気あいあいと値札を付けたり、陳列している姿を見た時、地域の子どもたち、大人の人たち、障害を持つ人も持たない人も、皆で楽しめるこのような場づくりを益々ひろげていきたいと思った次第です。最後は皆が輪になって「アンパンマン音頭等」の音頭に合わせて延べ500人の人々が楽しい夏の1日を過ごしました。

(地本義彦)

「CAP(子どもへの暴力防止プログラム)」

佐竹台地区委員会

CAPは、子どもに対する虐待、暴力行為、子ども同士のいじめなどに子ども自身がどう対処するかを教える人権プログラムです。

まず、地域の大人にCAPを知ってもらい、暴力防止のために大人達はどうすればいいかなど、大人の役割についての講習会「大人のためのワークショップ」を開催しました。親は大切な我が子でさえも乳幼児でない限り常に側にいて外圧から守るというのは不可能です。特に子どもへの暴力には胸が痛みます。

講習を受け、子どもへの暴力防止と子どもの権利についての理解が深まり、子どもの為のワークショップを実施する必要性があると感じました。

(前田勢津子)



佐竹台地区委員会